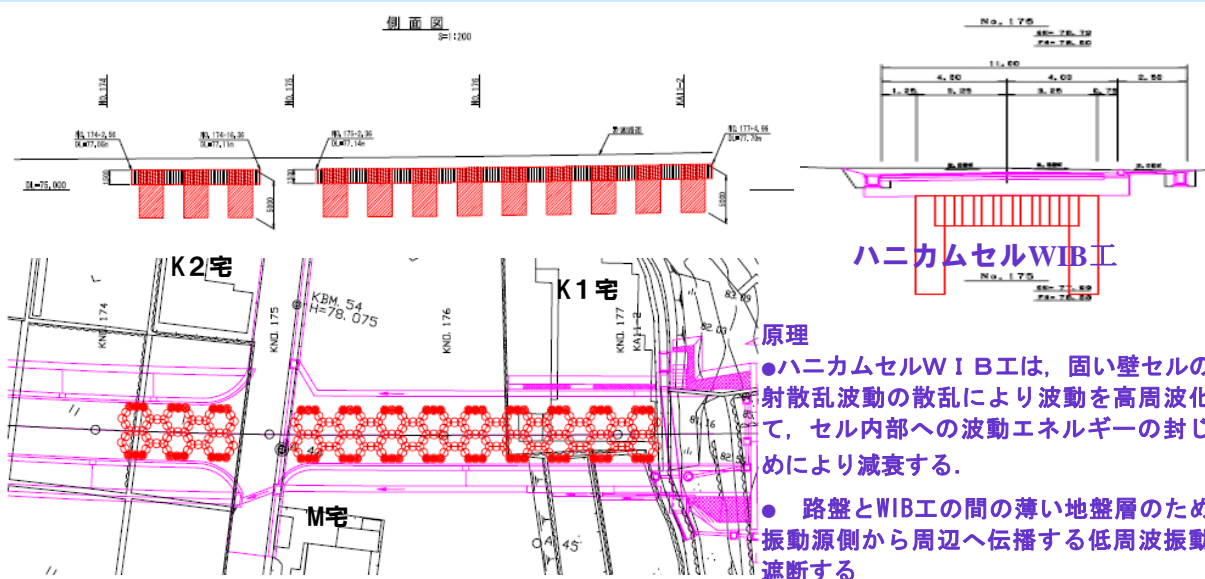


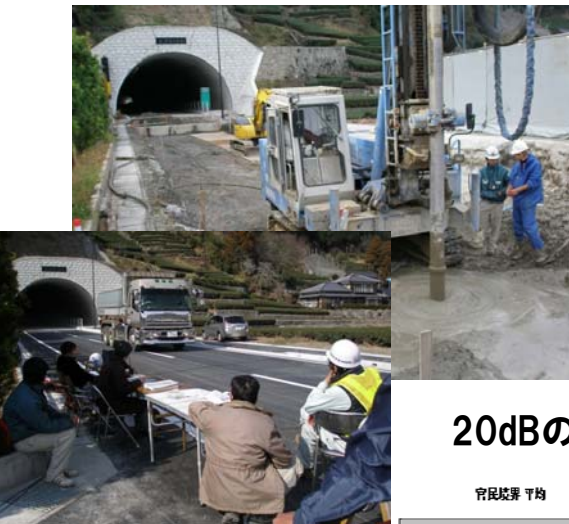
国道362号の交通振動対策「WIB工法」[®] 特許2850187, 2764696, 4222812



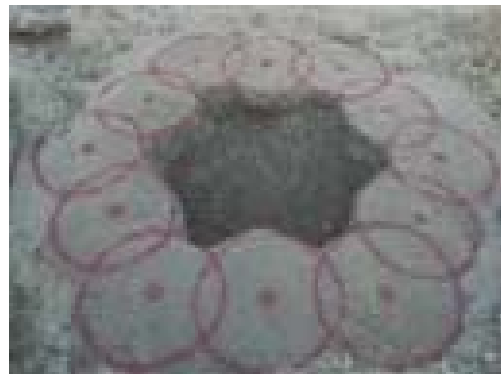
特長

- 地盤内に構築されたハニカムセルWIB工は、伝播経路で振動を吸収して、従来工法より格段に高い振動低減を発揮する(10dB低減、約1/3に下げる)。
- 道路直下に構築されるWIB工は、荷重を分散して道路構造の安定化をはかる。
- セル内にTDA(高減衰材のタイヤ・シュレッドを主体)を中詰めすれば、減振効果が更に高まる。

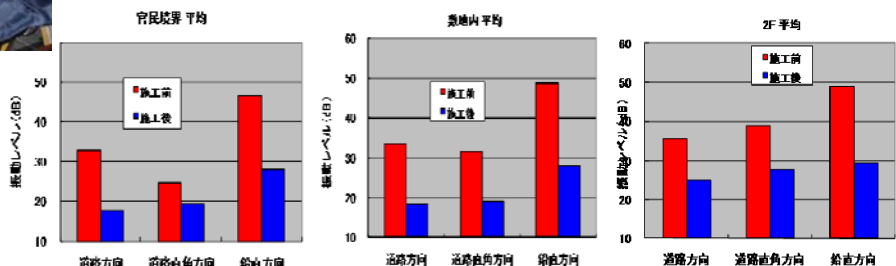
WIB工をセメント系盤改良柱工事で構築



改良柱で構成された1セルの平面写真



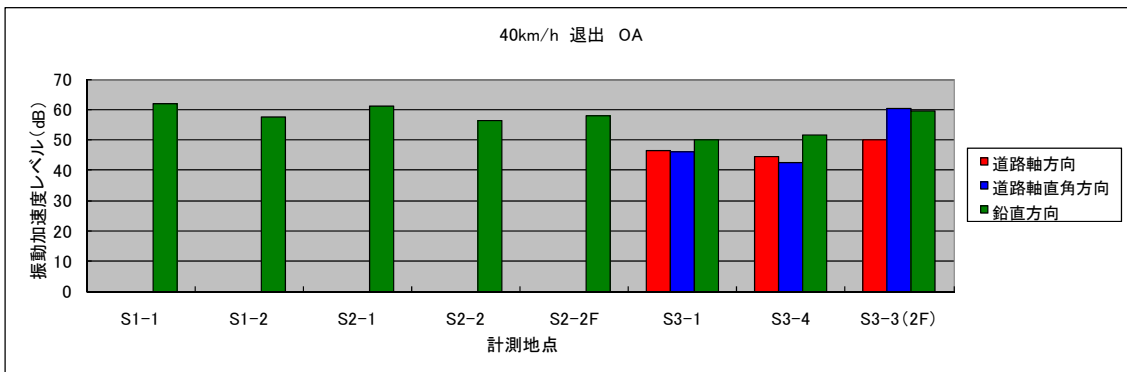
20dBの減振量を達成



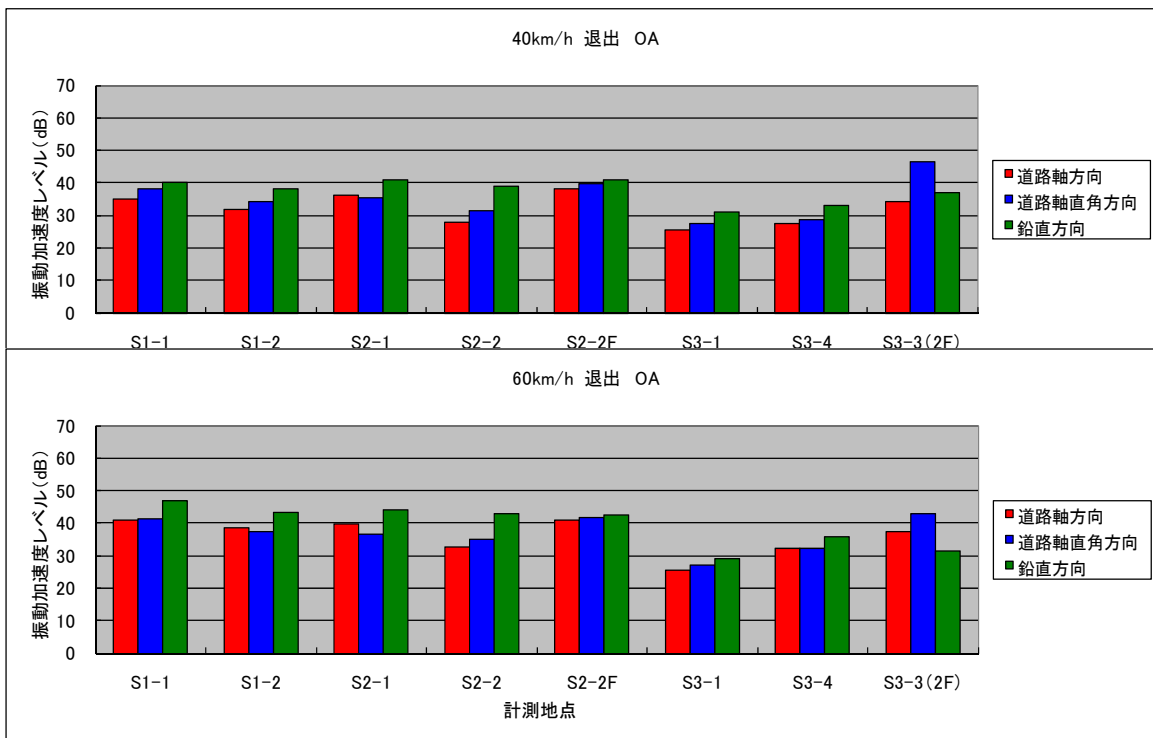
性能確認検査

WIB工施工後の試験車走行による計測に基づいて、減振を保証する。

WIB工の施工前の計測結果：官民境界（S1-1,S2-1 S3-1）で50～60dBを越す振動加速度レベル
沿線の住宅で60dB鉛直及び水平の振動加速度レベル



WIB工の施工後の計測結果：官民境界（S1-1,S2-1 S3-1）で40dB以下の振動加速度レベル
沿線の住宅で40 dB以下の鉛直、46以下水平の振動加速度レベル
試験車が60km/hに加速しても、振動は殆ど同じレベルである。



1/3オクターブバンド周波数スペクトル：対策前は振動が8Hz～30Hzに卓越していたが、
対策後は、同帯域が大きく低下している。

